

取組目標	評価項目・目標数値	実績	考察及び改善策												
介護・支援を要しない高齢者の割合の維持	75歳～85歳未満の高齢者のうち、要介護・要支援の認定を受けていない人の割合 令和 5（2023）年度：82.2% ↓ 令和 8（2026）年度：82.2%	R5年度：82.2% R6年度：81.7% R7年度：81.5%	令和 7 年度の介護・支援を要しない75歳以上85歳未満の高齢者の割合は、令和 6 年度（81.7%）からほぼ横ばいである。 令和7年度の実績は令和5年度より悪化しているものの、この4年間の平均と同水準の実績となっており、要介護・要支援の認定を受けていない人の割合は維持することができている。 75歳～85歳未満の高齢者のうち、要介護・要支援の認定を受けていない人の割合 <table><tr><th>年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><th>割合</th><td>81.5%</td><td>81.7%</td><td>82.2%</td><td>81.7%</td><td>81.5%</td></tr></table> 介護予防の取り組みとして今後も引き続き、フレイルの疑いがある高齢者への個別支援を実施し、リハビリテーション専門職との連携により身体機能及び生活機能の改善を図る。また、通いの場での健康教育により介護予防の普及啓発を強化し、住民主体の介護予防活動の促進を図っていく。	年度	R3	R4	R5	R6	R7	割合	81.5%	81.7%	82.2%	81.7%	81.5%
			年度	R3	R4	R5	R6	R7							
割合	81.5%	81.7%	82.2%	81.7%	81.5%										